

歯と口腔の健康づくりの推進に関する 施策の実施状況（報告）

令和２年度

熊本市

1 各ライフステージにおける対策の推進

(1) 胎児期・妊娠期及び乳幼児期

ア 令和元年度の取組結果等

口腔の健康を通して健やかな妊娠生活を支援するとともに、乳幼児の歯と口腔の健やかな発達と楽しい育児を支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
妊婦歯科健診・相談事業（直営）	内容	親子（母子）健康手帳交付時に併せ、歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：370回 ・受診者数：2,603人
妊婦歯科健診・相談事業（委託）	内容	親子（母子）健康手帳交付時に歯科健診ができなかった者に対して、受診券を発行し、歯科医療機関で歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	受診者数：1,179人
1歳6か月児歯科健診・フッ化物体験塗布	内容	1歳6か月児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。また、希望者には、フッ化物体験塗布を実施する。
	結果	・歯科健診 実施回数：235回 受診者数：6,100人 ・フッ化物体験塗布 実施者数：5,648人
3歳児歯科健診	内容	3歳児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：188回 ・受診者数：6,185人
歯科健康教育	内容	子育てサークル等において、むし歯予防講話等を実施する。
	結果	・実施回数：96回 ・参加組数：787組
育児相談	内容	区役所や子育てサークル等において、歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：347回

		・相談者数：２，５３９人
フッ化物洗口 支援事業	内容	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対して洗口剤等を配布するとともに、円滑な実施に係る技術支援を行う。
	結果	実施施設数：１１３施設（うち新規実施３施設）
保育所等における 歯科健康教育	内容	保育所等において、幼児、保護者等を対象に、歯科講話、歯磨き指導等を実施する。
	結果	・実施施設数：１１７施設 ・実施回数：１３９回 ・参加者数：７，４３１人
乳幼児ママ パパ教室	内容	育児サークル等において、歯科医師等を招いて教室を実施する。
	結果	・実施回数：２回 ・参加組数：１６組
保育所等における 歯科健康診断	内容	保育所等において、園歯科医師による歯科健康診断を実施する。
	結果	実施施設数：２１７施設

※ 令和元年度決算額

子育て世代地域包括支援センター運営経費 １５，２１１千円

妊婦歯科健診 ２，６３６千円

幼児健診経費 ２３，９８７千円

公立保育園嘱託歯科医手当 ２，１９７千円

公立幼稚園歯科医報酬 １，０６１千円

保育所等フッ化物洗口事業 ３８２千円

イ 令和２年度の実施内容（令和２年１０月末日現在）

令和元年度の実施事業を令和２年度も継続して実施する。

※ 令和２年度予算額

子育て世代地域包括支援センター運営経費 ２６，００１千円

妊婦歯科健診 ２，６００千円

幼児健診経費 ２５，５７９千円

公立保育園嘱託歯科医手当 ２，１９７千円

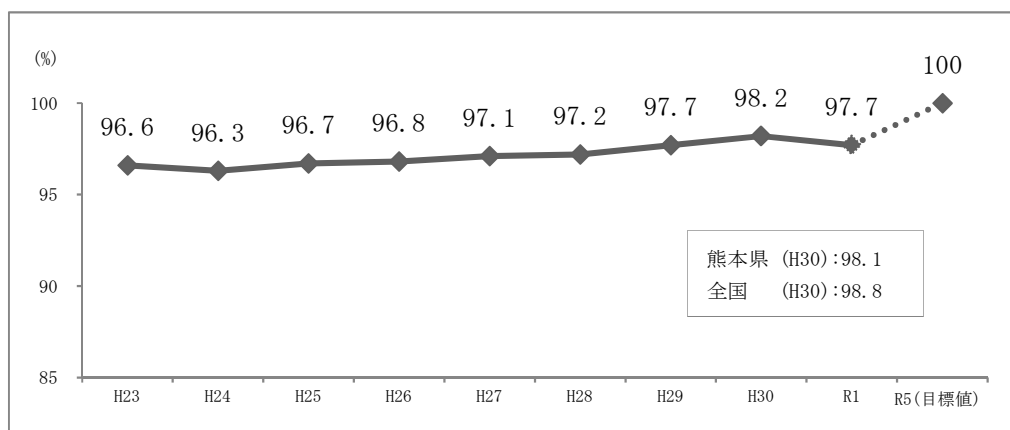
公立幼稚園歯科医報酬 １，０６１千円

保育所等フッ化物洗口事業 435千円

ウ 成果指標

1歳6か月児でのむし歯のない者の増加

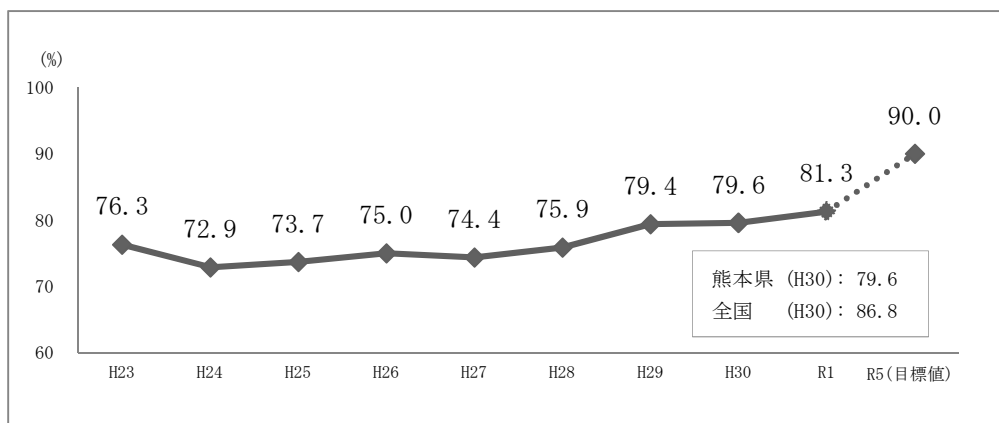
平成23年度 基準値	令和元年度 実績値	令和5年度 目標値
96.6%	97.7%	100.0%



出典：【熊本市】1歳6か月児歯科健診結果
【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

3歳児でのむし歯のない者の増加

平成23年度 基準値	令和元年度 実績値	令和5年度 目標値
76.3%	81.3%	90.0%



出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果
【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

(2) 学童期及び中・高生期

ア 令和元年度の取組結果等

学童期の乳歯と永久歯の生え変わりが始まる時期に、自分の口にあった歯磨き習慣を身に付け、むし歯や歯肉炎のない楽しい学校生活ができるよう支援するとともに、生活習慣の改善によりむし歯や歯肉炎を減少させることができる中高生が増加するよう支援するために、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
小中学生に対する歯科健康教育	内容	小中学生を対象としたむし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯磨き指導を実施する。
	結果	・実施校数：４０校（うち小学校３４校、中学校６校） ・実施回数：７０回（うち小学生６３回、中学生７回） ・参加者数：４，５８３人（うち小学生３，８２１人、中学生７６２人）
小中学校の学校保健委員会に対する歯科健康教育	内容	小中学校の学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する取組等の助言等を行う。
	結果	実施校数：７校（うち小学校６校、中学校１校）
歯科健康相談	内容	小中学生や保護者に対して、歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：３５回 ・相談者数：８２２人
歯科検診	内容	就学时歯科検診及び学校歯科検診を実施する。
	結果	実施校数：１３７校
フッ化物洗口事業	内容	むし歯予防のため、小学校で週１回法によるフッ化物洗口を実施する。
	結果	実施校数：４１校

※ 令和元年度決算額

小学校等フッ化物洗口事業 ５，４５６千円

学校歯科医報酬 ３１，２２８千円

イ 令和２年度の取組内容（令和２年１０月末日現在）

令和元年度の取組事業を令和２年度も継続して実施する。

※ 令和２年度予算額

小学校等フッ化物洗口事業 8,760千円(71校で実施予定)

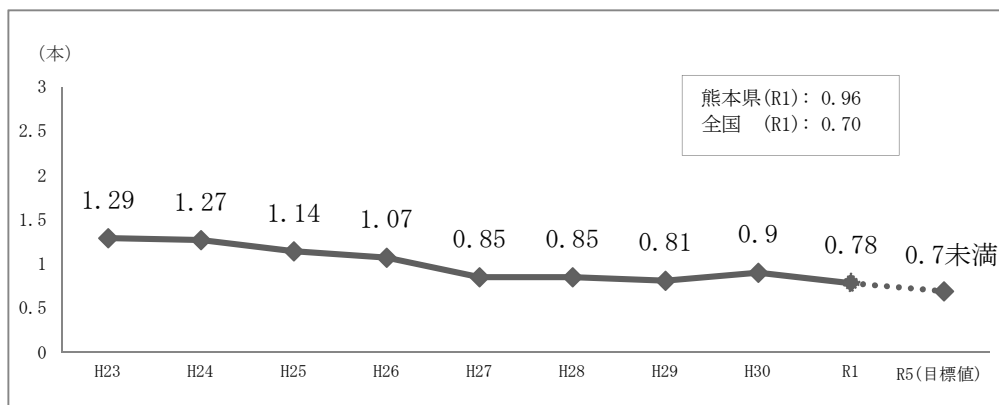
学校歯科医報酬 30,871千円

ウ 成果指標

12歳児でのむし歯のない者の増加

(1人当たりむし歯本数の減少)

平成23年度 基準値	令和元年度 実績値	令和5年度 目標値
1.29本	0.78本	0.7本未満



出典：熊本県歯科保健状況調査

(3) 成人期

ア 令和元年度の取組結果等

社会生活を送る上で、歯と口腔の健康づくりが重要であることを知り、自分
にあった口腔ケアを獲得できるように支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
歯たちの健診	内容	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談を実施する。
	結果	参加者数：230人（うち学園祭101人、区役所129人）
歯周病検診	内容	歯の喪失をもたらす歯周病を予防し、かかりつけ歯科医における定期歯科健診を推進するため、歯周病検診の受診に対する支援を実施する。 ※ 受診対象年齢：40歳・60歳
	結果	受診者数：5人（うち40歳2人、60歳3人）
歯科健康教育	内容	生活習慣病予防教室において、糖尿病等と歯科疾患との関係について歯科健康教育を実施する。また、8020教室において、歯科疾患の予防等について講話や口腔ケア等を実施する。
	結果	・実施回数：56回（うち生活習慣病予防教室7回、8020教室49回） ・参加者数：1,263人（うち生活習慣病予防教室114人、8020教室1,149人）
歯科健康相談	内容	定期歯科健診を推進するため、歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：63回 ・相談者数：794人

※ 令和元年度決算額

歯周病検診経費 80千円

イ 令和2年度の取組内容（令和2年10月末日現在）

令和元年度の取組事業を令和2年度も継続して実施する。

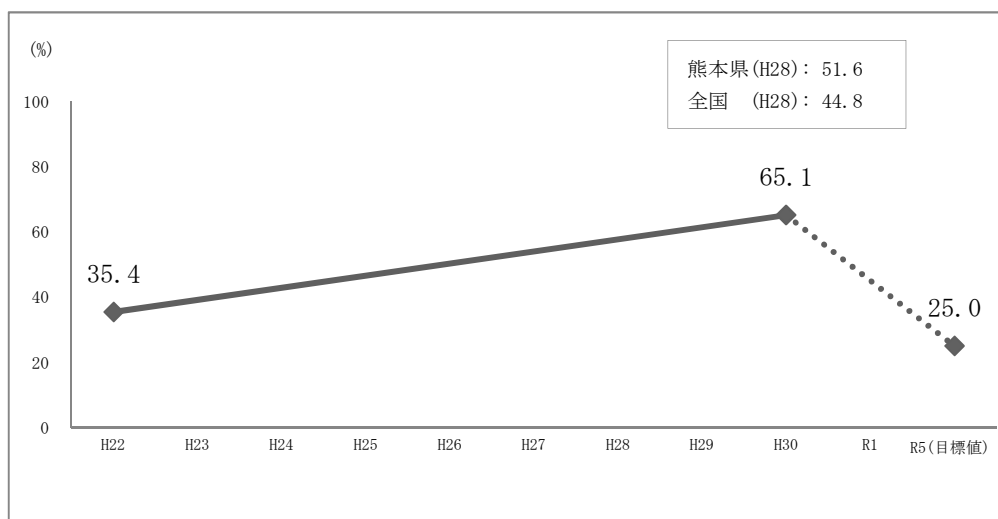
※ 令和2年度予算額

歯周病検診経費 376千円

ウ 成果指標

40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少

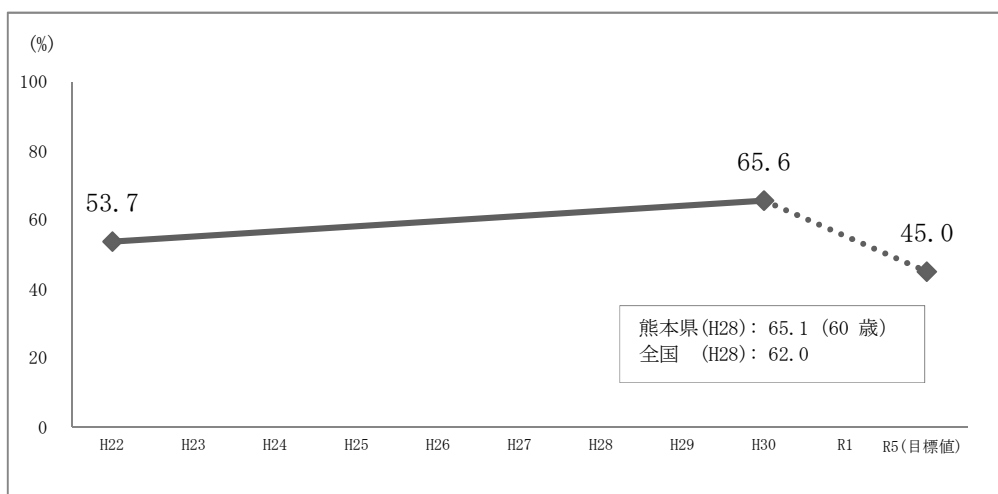
平成22年度 基準値	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
35.4%	65.1%	25.0%



出典：【熊本市】成人歯科健診
【熊本県】熊本県歯科保健実態調査
【全国】歯科疾患実態調査

60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少

平成22年度 基準値	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
53.7%	65.6%	45.0%



出典：【熊本市】成人歯科健診
【熊本県】熊本県歯科保健実態調査
【全国】歯科疾患実態調査

(4) 高齢期

ア 令和元年度の取組結果等

歯の喪失等による口腔の機能の低下を防止し、「食べること」を通じて積極的に社会活動ができるように支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
8020表彰	内容	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民を表彰するため事前診査を行い、表彰式を開催する。
	結果	表彰者数：59人
歯科健康教育	内容	地域において高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアの必要性に関する歯科健康教育を実施する。
	結果	・実施回数：96回 ・参加者数：1,844人
歯科健康相談	内容	高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアについての歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：84回 ・相談者数：678人
後期高齢者歯科口腔健康診査	内容	後期高齢者の口腔機能の改善を図り、生活習慣病、誤嚥性肺炎等の疾患を予防するため、歯科口腔健康診査を実施する。 ※ 受診対象年齢：75歳以上
	結果	受診者数：735人
短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）	内容	口腔機能向上や改善を目的としたプログラムを実施する。 ※ 事業対象者：要支援1又は要支援2の認定を受けている者及び本サービスを利用することにより機能の維持・改善が見込まれる65歳以上の者
	結果	・実施事業所数：4か所 ・利用者数：3人 ・実施回数：7回

※ 令和元年度決算額

後期高齢者歯科口腔健康診査 3,014千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 495千円

イ 令和2年度の取組内容（令和2年10月末日現在）

令和元年度の取組事業を令和２年度も継続して実施する。

※ 令和２年度予算額

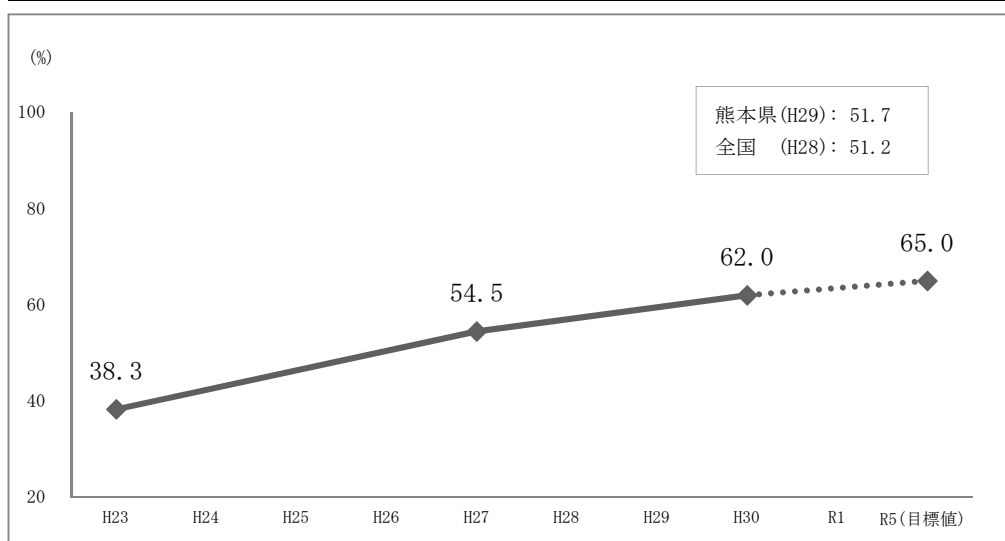
後期高齢者歯科口腔健康診査 ３，７４２千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 ４９５千円

ウ 成果指標

８０歳で２０歯以上の自分の歯を有する者（８０２０達成）の増加

平成２３年度 基準値	平成３０年度 実績値	令和５年度 目標値
３８．３％	６２．０％	６５．０％



出典：【熊本市】健康くまもと２１市民アンケート
【熊本県】熊本県健康・食生活に関する調査
【全国】歯科疾患実態調査

2 歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり

(1) 令和元年度の取組結果等

校区単位の健康まちづくりの中で歯科保健の活動を推進し、８０２０推進員を育成・支援し、及び障がい者等の歯科診療の環境づくりを支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
８０２０推進員育成事業	内容	８０２０推進員育成講座を実施し、８０２０推進員を育成する。
	結果	修了者数：７４人
８０２０推進員活動支援	内容	８０２０推進員に口腔ケアや歯科疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり啓発活動の支援を実施する。
	結果	・実施回数：８６９回 ・参加者数：５８，１７２人
歯と口の健康週間	内容	毎年６月の「歯と口の健康週間」や「歯の祭典」において、地域住民を対象に歯科保健普及の啓発活動を実施する。
	結果	・実施回数：１４０回 ・参加者数：９，９２７人
校区単位の健康まちづくりや地域のイベント等での啓発事業	内容	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科健康相談や唾液ＰＨチェック等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施する。
	結果	・開催回数：１６回 ・開催校区数：１４校区 ・参加者数：８７７人
障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防事業	内容	未就学児のうち身体障害者手帳、療育手帳又は「歯の健康ノート」を保有するものを対象として、口腔ケア、フッ化物塗布及び口腔衛生指導を実施する。
	結果	・実施回数：２８回 ・受診者数：１１９人
障がい者通所施設での歯科健康教育	内容	障がい者通所施設において、利用者や施設職員に対して口腔ケアの必要性や口腔機能に関する健康教育を実施する。

	結果	・実施回数：3回 ・参加者数：88人
障がい児（者） 口腔ケア地域 リーダー育成 事業	内容	障がい児（者）が身近な地域で歯科診療を受けられるよう、地域の歯科医師及び歯科衛生士の診療の知識等の習得を図る事業を実施する。
	結果	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
歯科救急医療 対策	内容	在宅歯科当番医制度により、いつでも安心して適切な歯科診療を受けることができる救急医療体制づくりを実施する。
	結果	・通常初期救急診療体制として、休日の準夜間において救急診療体制を整備 ・年末年始初期救急診療体制として、24時間の救急診療体制を整備
適切な医療体制の確立	内容	熊本県歯科医師会による障がい児（者）歯科医療提供体制強化事業への支援を実施する。
	結果	熊本県歯科医師会立口腔保健センターにおいて、週6日、障がい児（者）に対する歯科医療を提供
災害時の口腔 ケアの啓発	内容	災害時の口腔ケアの啓発を、歯の祭典、熊本市民健康フェスティバル及び笑顔ヘルCキャンペーンを通して実施する。
	結果	・歯の祭典における啓発活動 参加者数：397人 ・熊本市民健康フェスティバルにおける啓発活動 参加者数：186人 ・笑顔ヘルCキャンペーンにおける啓発活動 参加者数：105人

※ 令和元年度決算額

歯科保健推進経費 1,012千円

歯科保健推進事業費助成 400千円

熊本県歯科衛生士会熊本市支部事業補助金 153千円

熊本市歯科技工士会事業補助金 364千円

休日夜間急患在宅歯科診療事業 1,362千円

年末年始急患歯科診療事業 1,294千円

口腔保健センター負担金 1,000千円

障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業 148千円

(2) 令和2年度 of 取組内容（令和2年10月末日現在）

令和元年度の取組事業（障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業を除く。）
を令和2年度も継続して実施する。

※ 令和2年度予算額

歯科保健推進経費 1,258千円

歯科保健推進事業費助成 400千円

熊本県歯科衛生士会熊本市支部事業補助金 153千円

熊本市歯科技工士会事業補助金 364千円

休日夜間急患在宅歯科診療事業 1,278千円

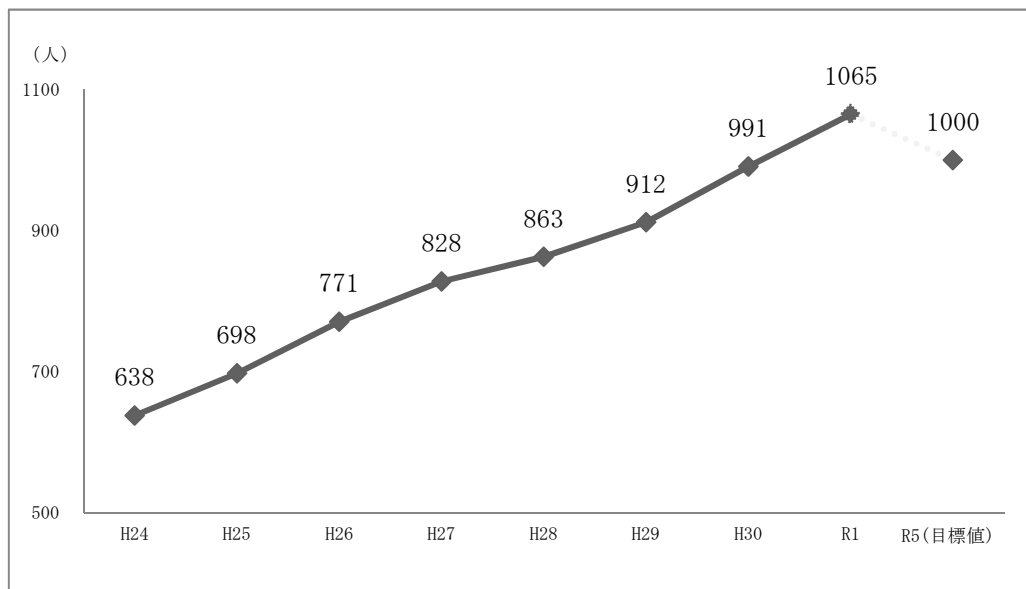
年末年始急患歯科診療事業 1,294千円

口腔保健センター負担金 1,000千円

(3) 成果指標

8020推進員の育成数の増加（累計）

平成24年度 基準値	令和元年度 実績値	令和5年度 目標値
638人	1,065人	1,000人 (令和元年度達成済み)



出典：【熊本市】8020推進員育成事業